
大好き

桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大好き

【Zマーク】

Z5056P

【作者名】

桜

【あらすじ】

私は、今日も君と過ごす。君と過ごす時間はとても大好きなんだ。

(前書き)

初めての短編です！

いつもと違う書き方をしたので分かりにくいところもあります。
どちらのほうが文章いいんだろう……。

では、どうぞ

大好き、だつたよ……嘘じゃなかつたの……

きつと君はそんなこと、知らないと思つけど。

いつか君に言つたことがあつた。

私は君が好きだよ、つて。

でも君は全然本気にして

くれなくて。

私も君との関係を壊したくなくて、ずっとこの想いを隠してた。
だけど時々伝えそーになる。君に、知つてもらいたくて。

私達は今、私の家で寛いでいる。

私はホットココアを飲みながら君を観察する。君はさつき

から全然動こうとしない。多分、小説を読んでいるから。

君は小説を読むとずっと小説を見て他のものを見ようとしてない。
私が話しかけても、気付いてないのか反応の一つも見せない。
でも小説に夢中になつてるから、君を観察することができる。

君の真剣な顔、私は好きだ。

稀にしか見せない、真剣な顔。

他の時にも君は真剣な顔するけど、それは勉強のとき、書類を見る時など、趣味じやないときの顔。

でも小説を読んでいる時、

小説の話をする時の顔は真剣で輝いていて、何よりも輝いている。
私は彼と友達だつた。彼を好きになつたのは、彼が彼の家で

好きな小説を読んでいて私も読んでみたけど難しくて、拗ねたような態度をとつていると彼は笑顔で私に、読みやすい小説をくれた。

拗ねたのは私なのに……。

私は君を観察するのをやめて、小説をとりだした。　君にこちら
つた、宝物だ。　　読んでいると君が、ぼつんと吐いた。

「それ、まだもつてくれてたんだ」

「もちろんだよ。君がくれたんだから」

君はため息をついて、カップに手を伸ばす。　彼用のカップには、コーヒーが入っている。

「あのな……前から思つてたんだけじゃ、俺のこと好きとかいう冗談はやめよーよ？」

「私が冗談で君に何回も好きだ、なんて言わないけどな」

私が少し本気に、でも明るい声で言つと彼はもう小説に目をむけていた。

少し残念に思いながらも私は君の肩にもたれかかり、小説を覗き込んだ。

「な、なんだよ？」

「照れてる?トマトみたいに真つ赤だよ」

彼は私から離れ、私に背を向ける。

彼は照れ隠しで顔を隠している。　君は照れると顔を隠すからすぐ分かる。

のうつに、トマトみたいに真つ赤。

けど、たまに見せる拗ねた顔、照れた顔……全部、愛しい。
君に、伝えたい……。

「君に伝えたいことがあるんだ」

「な、なんだよ?真剣になつて……」

君が振り向いてくれたから、今、言つね?

「あのね……大好きだよ」

「ま、またそんな冗談かよ？真剣な顔してそんな冗談言つなん
てよ」

「本気だよ。」の想いに嘘はないよ」

やつと言えた……冗談じゃなく、本気の言葉。

君は驚いたようで困惑していた。

「う、嬉しい……。俺もお前といふの、好きだったから

君は私に微笑んでくれた。

何回も言葉にするのは恥ずかしいから心の中で言つね？

――君が大好き――

(後書き)

どうでしたか?

私はまだまだだと思います。

台詞が少ない……。

また短編を投稿しようと思っています。

今度は男の子曰線で、隣の席の子との恋愛にしますので

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5056p/>

大好き

2010年12月15日21時00分発行